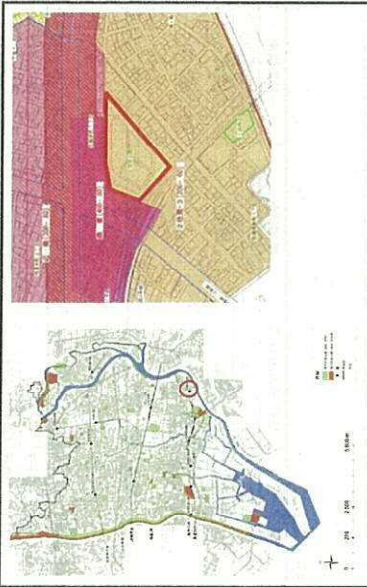


3.3.404号 宮前公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和21年8月15日	公園種別	近隣
	最終 昭和60年2月5日	計画面積	最終 1.2ha
位置	尼崎市北洲本町1丁目		
用途地域	第2種住居	土地用途制限による取得の有無	有【被災復興】

上位計画における位置付け有【緑の基本計画(沿線の緑)】



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和27年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	1.1ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	0.1ha	供用率	91.7%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		

概算事業費

合計	23,000千円
概算事業費	内訳 工事費23,000千円
民有地の土地利用	-

周辺状況

都市公園の予定状況	一部未充足	計画公園10ha、中沢公園0.06ha、龍ヶ島南公園0.15ha
上位計画で求められている調整の代替性	有(宮前公園の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	龍ヶ島南公園、神社	防災

検証結果

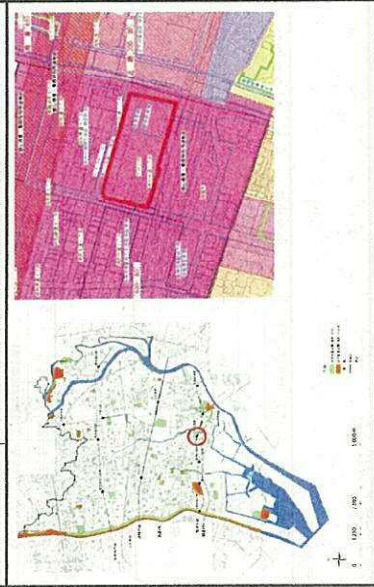
必要性	○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
代替性	○:上位計画に位置付けがある ○:一部未供用で標準面積未満である ○:供用部分のみでその機能が十分発揮できている ○:調整区域以外の機能を全て満たす代替施設があり、不足する標準面積に相当する ○:未供用区域は全都市有地(全額)であり、整備が見込める ○:都市公園としての必要性があるが、周辺に代替施設がある ×:地域固有の要素を含めた社会的検証は限定的であるため、整備の必要性は低い。
検証結果	面積縮小(未供用の全部)
特記事項	公園施設としての場合所(都市公園法施行令第5条第4項)は新たに設置しないこと。から、公園施設としての場合所施設は不要となった。
計画面積	見直し前 1.2ha 見直し後 1.1ha 廃止面積 0.1ha



3. 3. 406号 中央公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和27年8月15日	公園種別	近隣
	最終 平成3年10月22日	計画面積	最終 1.6ha
位置	尼崎市神田北通1丁目他		
用途地域	商業	土地収用権取得による取得の有無	有【取得復興】



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和28年5月20日	供用状況	一部未供用
供用面積	1.5ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.1ha	供用率	93.8%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地	0.10ha	—

概算事業費

合計	23,000千円
概算事業費	内訳 工事費23,000千円
民有地の土地利用	—

周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	開明中公園0.30ha、神田公園0.21ha、十間公園0.04ha
上位計画で定められている公園の代替性	有(中央公園の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	— 文化・レクリエーション
周辺に代替施設	標準面積以上のため代替性の検証なし	— 防災

検証結果

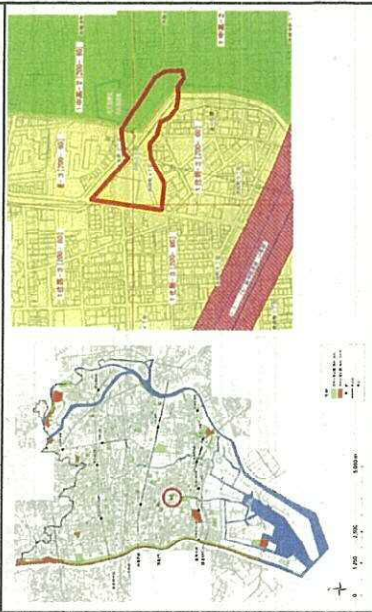
上位計画における都市公園としての必要性	○ 上位計画に位置付けがある	○ 有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
代替性	○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている	
実証性	○ 未供用区域は全城市有地(駐輪場)であり、整備が見込まれる	
地域固有の要素を含めた総合的な検証	○ 阪神尼崎駅前における景観形成や文化レクリエーションの拠点公園としての整備を進める必要がある。	
検証結果	存続	
特記事項		
計画面積	見直し前 1.6ha	
	見直し後 1.6ha	
	廃止面積 0.0ha	



3. 3. 407号 浜田川公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	公園種別	近隣
最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終 1.8ha
位置	尼崎市浜田町4丁目他		
用途地域	第一種中高層住居専用地域	土地用途変更による取得の有無	有(大庄中部第一)
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(水辺の緑)】		



供用状況

供用年月日	昭和34年4月15日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.6ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	1.2ha	供用率	33.3%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
	—	0.77ha	0.43ha

概算事業費

合計	1,466,381千円
概算事業費	内訳 用地買収費718,100千円、移転補償費545,880千円、工事費202,400千円
民有地の土地利用	集合脱税施設

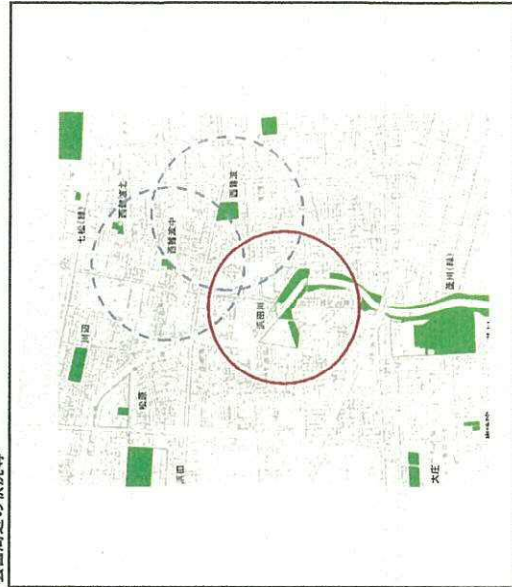
周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	西園緑地30ha、西園東中0.07ha
上位計画で求められている緑の広域性	有(浜田川公園の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	栗川緑地	

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画に即ける必要性	○	上位計画に位置付けがある
代替性	都市公園としての必要性	○	一部未供用で標準面積未満である
	上位計画の目的の代替	○	供用部分のみでその機能が十分発揮できている
	周辺の代替	○	隣接圏域に4つの機能を全て満たす代替施設があり、不足する設備は隣接圏域に相当する
実現性	実現性	×	未供用部分は森林地及び市街地(道徳、公園)であり、整備が見込めない
	地域固有の要素を含めた総合的な検証	×	都市公園としての必要性はあるが、周辺に代替施設があり、整備の必要性も低い。
検証結果			面積縮小(未供用の一部)
特記事項			

計画面積	見直し前 1.8ha
	見直し後 1.0ha
	廃止面積 0.8ha



3. 3. 408号 蘆川公園

公園概要			
都市計画決定年月日	当初 昭和21年8月15日	公園種別	近隣
最終	昭和30年2月5日	計画面積	最終 2.8ha
位置	尾崎市薬徳院2丁目他		
用途地域	第一種住居	土地区域整理による取得の有無	有(大庄中部第一)
上位計画における位置付け	無		



供用状況

供用年月日	昭和33年10月22日	供用状況	一部未供用
供用面積	1.8ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	1.0ha	供用率	64.3%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
	0.21ha(蘆川緑地として供用)	0.12ha	0.67ha

概算事業費

合計	1,948,411千円
概算事業費	内訳 用地買収費1,072,000千円、移転補償費694,711千円、工事費181,700千円
民有地の土地利用	独立施設(38軒)、集合施設(4軒)、後援施設、業務施設

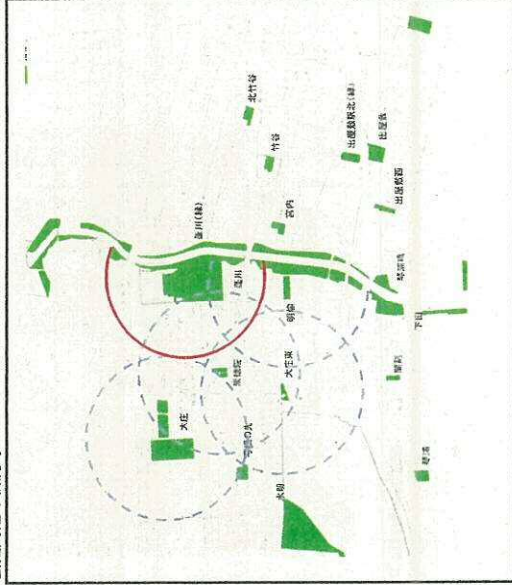
周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	大庄1.0ha、薬徳院0.08ha、明倫0.14ha、水庄東0.04ha
上位計画で求められている緑地の代替性	—	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	— 文化・レクリエーション
周辺の代替施設	標準面積以上のため代替性の検証はなし	— 防災

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



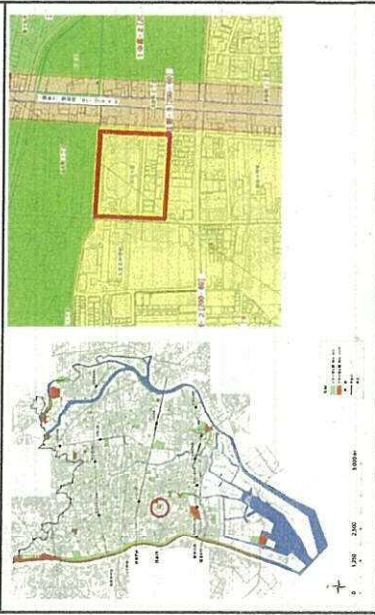
検証結果

必要性	上位計画における必要性 都市公園としての必要性	×	上位計画に位置付けがない
代替性	上位計画の代替性 都市公園機能の代替	×	一部未供用であるが標準面積以上である
実現性	×	未供用区域は民有地及び道路であり、整備が見込めない	
地域固有の要素を含めた総合的な検証	×	供用面積が標準面積以上である。また、都市計画決定時に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。	
検証結果	面積微小(未供用の全部)	都市公園の種別変更(地区→近隣)を検討する。	
特記事項			
	計画面積	見直し前	2.8ha
		見直し後	1.8ha
		廃止面積	1.0ha



3. 3. 410号 浜田公園

公園概要		当初	昭和32年3月28日	公園種別	近隣
都市計画決定年月日	最終	昭和50年2月5日	計画面積	最終	1.7ha
位置	尾崎市浜田町2丁目				
用途地域	第1種住居	土地区画整理による取得の面積			
上位計画における位置付け	有【地域防災計画(大火災避難場所)】				

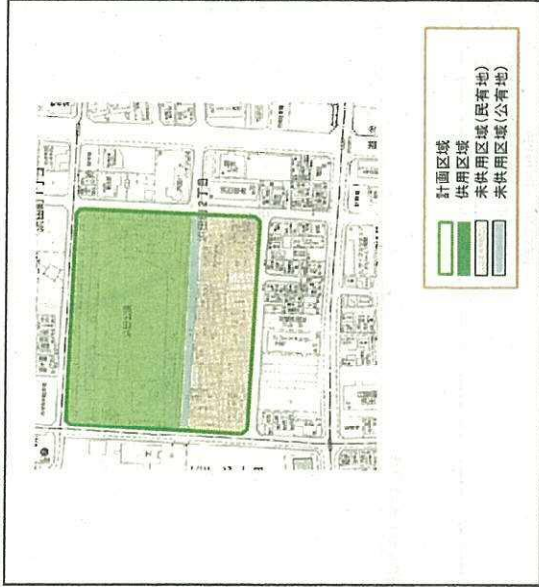


供用状況	昭和37年1月30日	供用状況	一部未供用
供用年月日	1.0ha	標準面積との比較	標準面積未満
供用面積	0.7ha	供用率	58.8%
未供用面積	0.08ha	その他	民有地
未供用面積の内訳	公園用地	0.08ha	0.02ha

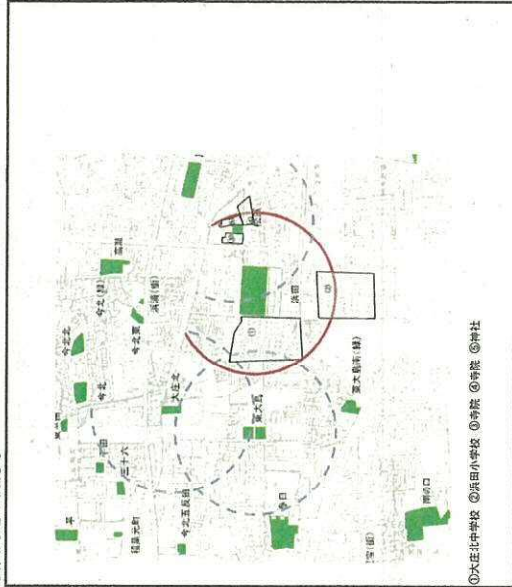
概算事業費	合計 1,791,877千円
内訳	用地取得費1,48,000千円、移転補償費48,377千円、工事費161,000千円
民有地の土地利用	独立住宅(29軒)、集合住宅(4軒)、保管施設、駐車場(3箇所)

周辺状況	一部未充足	大庄10.12ha、東大庄0.21ha、松原0.09ha、川辺0.38ha
都市公園の充足状況	有(浜田公園の供用部分で機能が発揮できている)	
上位計画で定められている機能の代替性	環境・景観	○ 文化・レクリエーション
都市公園機能の代替性	○	○
周辺の代管施設	松原公園、大庄北中学校、浜田小学校、寺院(2箇所)、神社	○ 防災

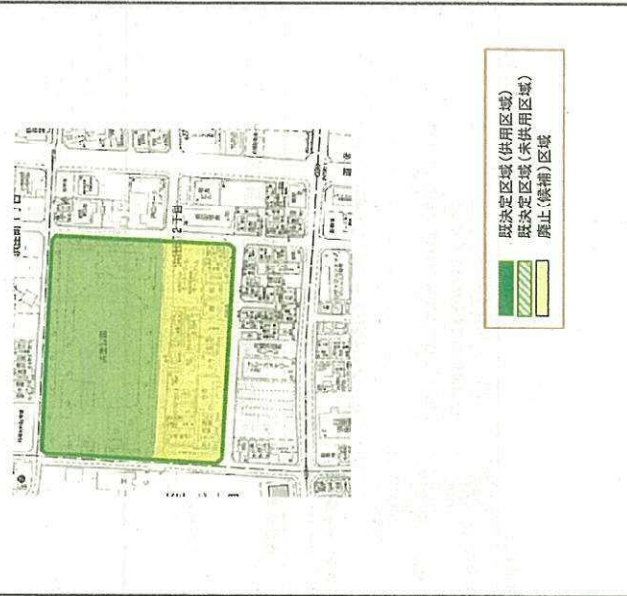
土地利用の状況等



公園周辺の状況等



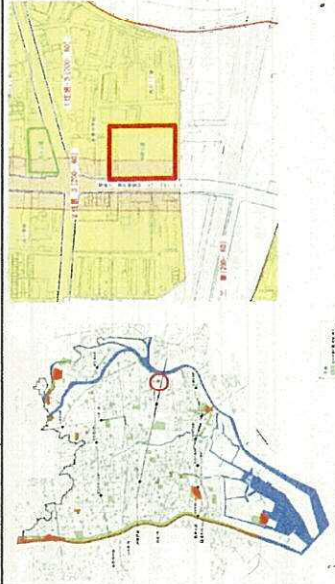
検証結果	○:有 △:一部有 X:無 -:検証不要
必要性	○ 上位計画に位置付けがある
代替性	○ 一部未供用で標準面積未満である
実現性	○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
地域固有の要素を含めた総合的な検証	○ 隣接街区に4つの機能を全て満たす代替施設があり、不足する標準面積に相当する
検証結果	X 未供用区域は全域民有地であり、整備が見込まれない
検証結果	X 都市公園としての必要性はあるが、周辺に代替施設があり、整備の実現性は低い。
検証結果	面積縮小(未供用の全部)
特記事項	
計画面積	見直し前 1.7ha
	見直し後 1.0ha
	廃止面積 0.7ha



3. 3. 412号 神崎公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和21年8月15日	公園種別	近隣
	最終 昭和60年2月5日	計画面積	最終 1.0ha
位置	尼崎市西川丁目		
用途地域	第一種住居 第二種住居 有(小田北)		
上位計画における位置付け	土地区画整理による取得の有無		
	有(緑の基本計画(沿線の軸))		



供用状況

供用年月日	供用面積	供用状況	全域未供用
	0.0ha	標準面積との比較	標準面積未満
	1.0ha	供用率	0.0%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		

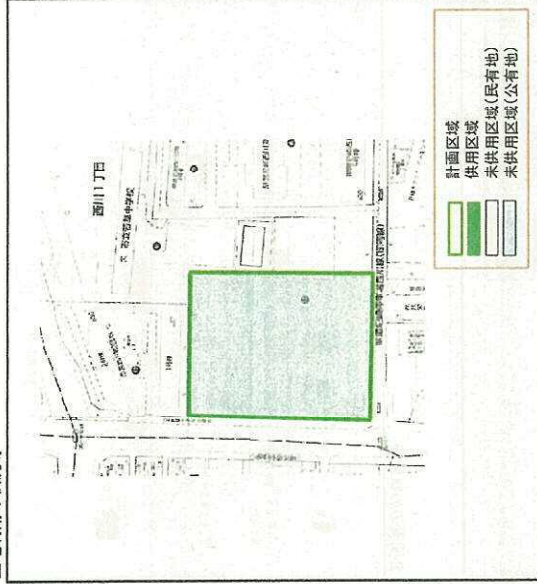
概算事業費

概算事業費	合計 230,000千円
民有地の土地利用	内訳 工事費230,000千円

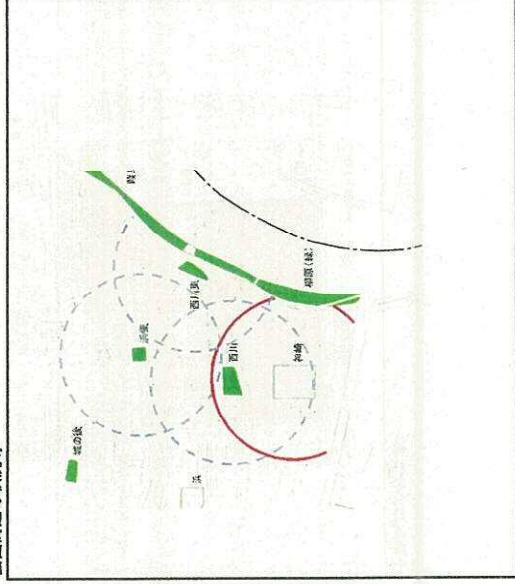
周辺状況

新市公園の充足状況	充足(工業地域を除く)	西川0.31ha、西川東0.19ha、浜敷0.14ha
上位計画で定められている用途地域の代替性	有(沿路側)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代管施設	充足のため代替性の検証なし	防災

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

○:有 △:一部有 X:無 -:検証不要

必要性	上位計画における重要性	○	上位計画に位置付けがある
代替性	新市公園としての必要性	X	全域未供用であるが充足地である
	周辺地域の代替性	○	周辺に上位計画で求められている機能の代替がある
	都市公園機能の代替性	-	
実現性		-	
地域固有の要素を含めた総合的な検証		-	緑の基本計画における身近な公園としては充足地であるため、必要性がなくなっている。
検証結果			廃止
特記事項			未充足区域のほぼ全域が工業地域(緑致園を設定しない区域)のため、「充足」とみなしている。
	計画面積	見直し前	1.0ha
		見直し後	0.0ha
		廃止面積	1.0ha



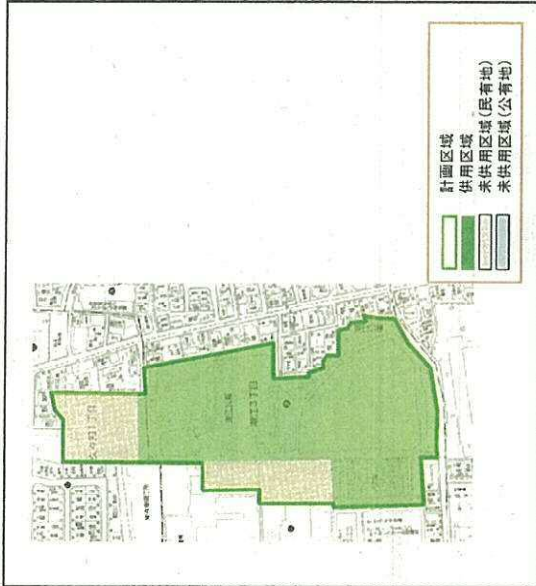
3. 3. 413号 潮江公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和32年9月28日	最終 昭和60年2月5日	公園種別	近隣
位置	尼崎市潮江3丁目他		計画面積	2.6ha
用途地域	第一種住居		最終	
上位計画における位置付け	無			
	土地区画整理による取替の計画			



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和55年6月23日	供用状況	一部未供用
供用面積	1.9ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.7ha	供用率	73.1%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
			0.70ha

概算事業費

合計	1,431,148千円
概算事業費	内訳 用地買収費1,078,000千円、移転補償費192,148千円、工事費161,000千円
民有地の土地利用	工場(3軒)

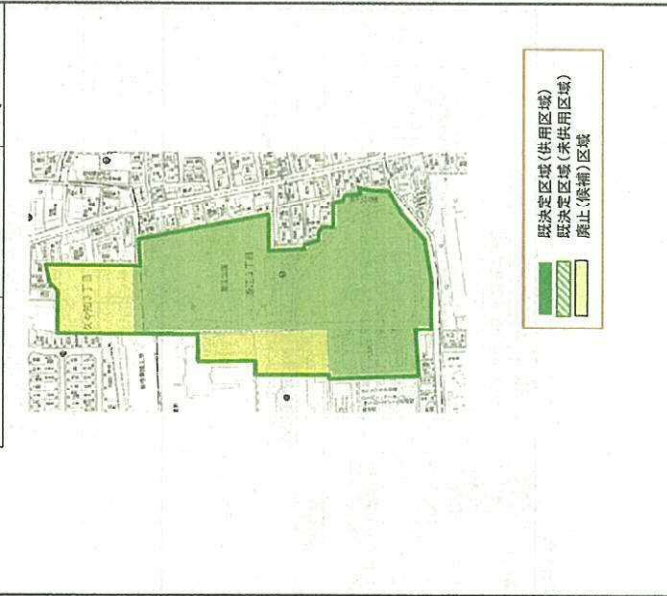
周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	西川0.31ha、西川東0.19ha、浜瀬0.14ha
上位計画で定められている形態の代替性	—	
都市公園機能の代替性	環境・景観	—
	文化・レクリエーション	—
	防災	—
周辺の代管施設	標準面積以上のため代替性の検証なし	

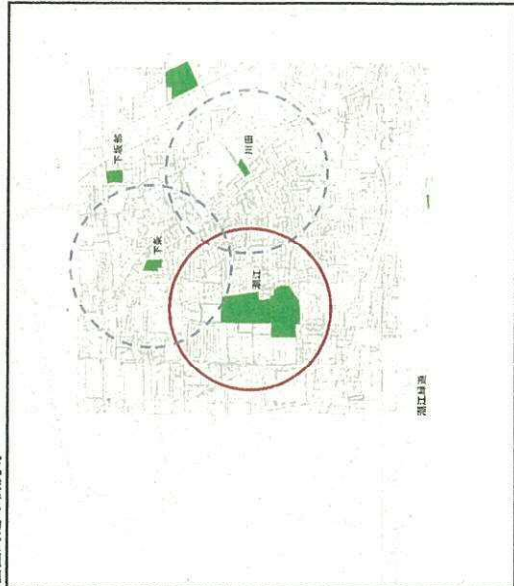
検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画に位置付けがない	×
代替性	一部未供用であるが標準面積以上である	×
実現性	未供用区域は全域民有地であり、整備が見込めない	×
地域固有の要素を含めた総合的な検証	供用面積が標準面積以上である。また、都市計画決定時に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。	×
検証結果	面積縮小(未供用の全部)	
特記事項	都市公園の種別変更(地区→近隣)を検討する。	

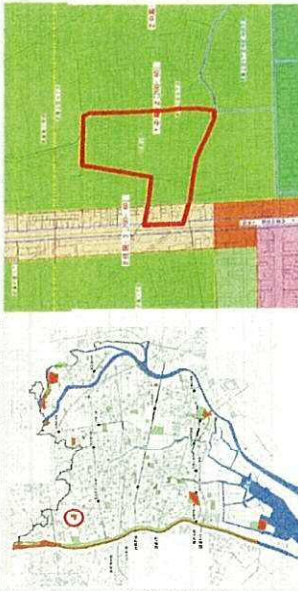


公園周辺の状況等



3. 3. 417号 武庫公園

公園概要		公園種別	近隣
都市計画決定年月日	当初 昭和三十二年三月二十八日	公園種別	近隣
	最終 昭和六十一年二月五日	計画面積	2.7ha
位置	尼崎市武庫之荘5丁目		
用途地域	第1種中高層住居専用地域		
上位計画における位置付け	有(緑の基本計画(緑線の緑))		
土地取得の経緯	土地取得の経緯		
無	無		



供用状況

供用年月日	—	供用状況	全域未供用
供用面積	0.0ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	2.7ha	供用率	0.0%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
	0.02ha	0.12ha	2.56ha

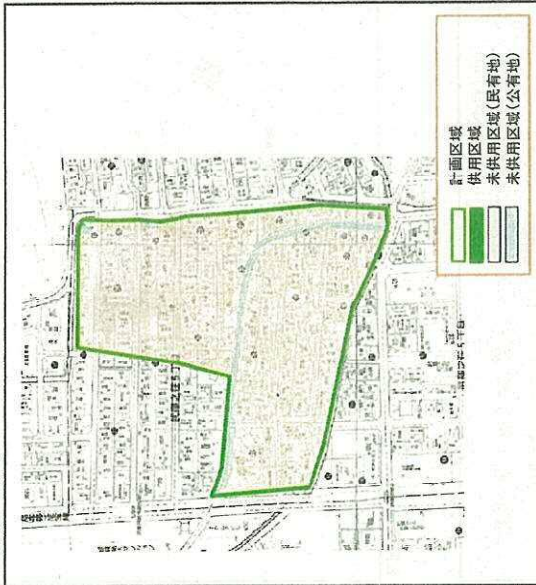
概算事業費

概算事業費	合計 9,006,826千円
内訳	用地買収費5,555,000千円、移転補償費2,830,326千円、工事費621,000千円
民有地の土地利用	地主住宅(148軒)、業宅住宅(5軒)、商業・店舗兼用住宅(9軒)、集合住宅建設、業務施設、住居付(1軒)、飲食店

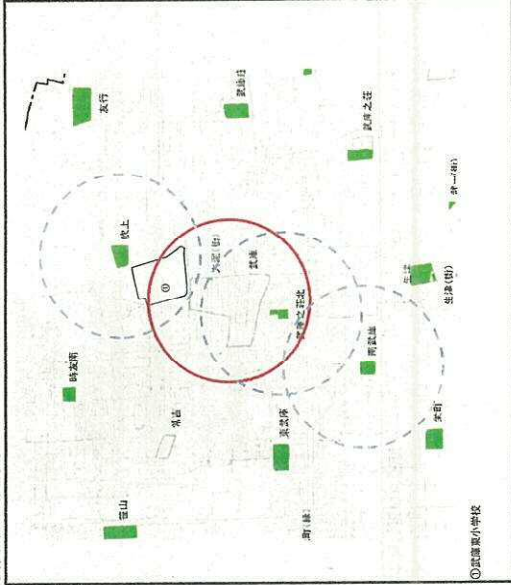
周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	武庫之荘北0.09ha、吹上0.25ha、南武庫0.1ha
上位計画で定められている緑地の代替性	無	
都市公園機能の代替性	環境・景観	○ 文化・レクリエーション ○ 防災 ○
周辺の代替施設	武庫之荘北公園、大浜公園、武庫東小学校	

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



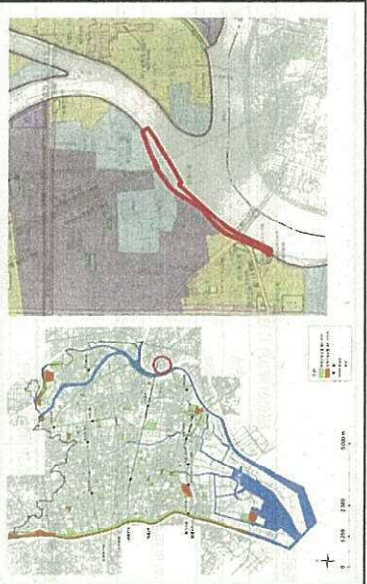
検証結果

必要性	○ 上位計画に位置付けがある	○ 有 △ 一 許有 × 無 - :検証不要
代替性	○ 全域未供用で未充足地である	
実現性	× 隣接地域に十分な機能を全て満たす代替施設があり、不足する箇所を計画に相違する	
地域固有の要素を含めた総合的な検証	× 未供用区域は一部の市有地を除き民有地であり、整備が見込めない	
検証結果	廃止	
特記事項	区域内に新道線字も広場と大浜街がある。廃止区域については、上位計画に基づき、沿線緑化を誘導していく。	
計画面積	見直し前 2.7ha	
	見直し後 0.0ha	
	廃止面積 2.7ha	

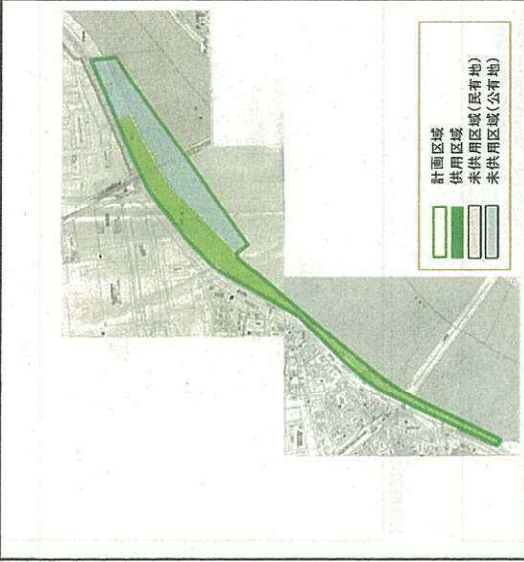


62 磯島公園

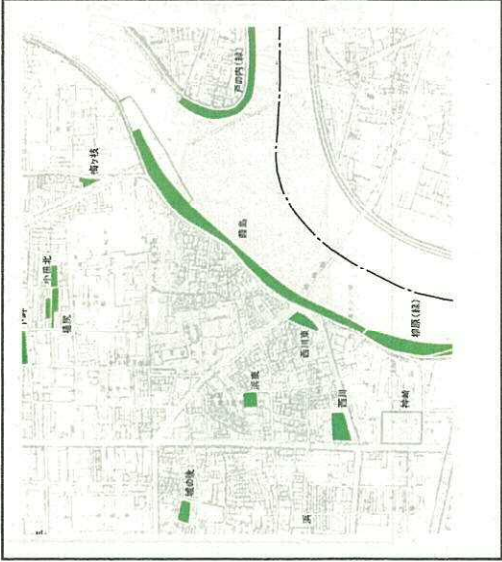
公園概要		当初 昭和32年3月28日	公園種別	近隣
都市計画決定年月日	最終 昭和49年1月29日	計画面積	最終	3.6ha
位置	尼崎市西川1丁目他	土地区画整理による取得の有無	無	
用途地域	—	—		



土地利用の状況等



公園周辺の状況等

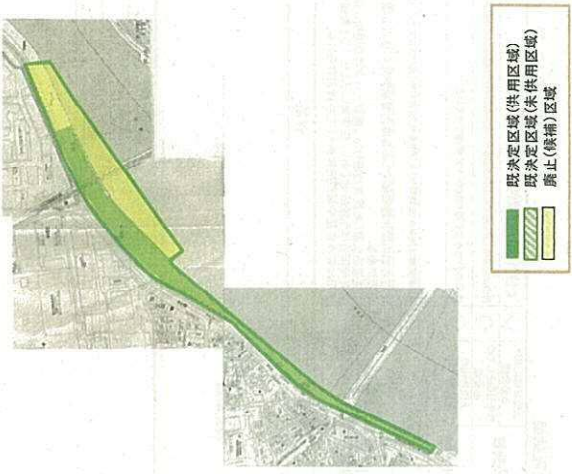


検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	○ 上位計画に位置付けがある
代替性	× 一部未供用であるが、標準面積以上である
	○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
実現性	○ 上位計画の 機能の代替 機能の代替 —
地域固有の要素を 含めた総合的な検証	× 未供用区域は全域河川であり、整備が見込めない。 公園周囲の区域境界は高水敷境界線となっており、現状の地形にあわせて一部変更する。

検証結果	面積縮小(未供用の全部) 区域変更にあわせて、公園番号を付与する必要はある。
特記事項	
計画面積	見直し前 3.6ha 見直し後 1.7ha 廃止面積 1.9ha



供用状況

供用年月日	昭和61年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	1.7ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	1.9ha	供用率	47.2%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		

概算事業費

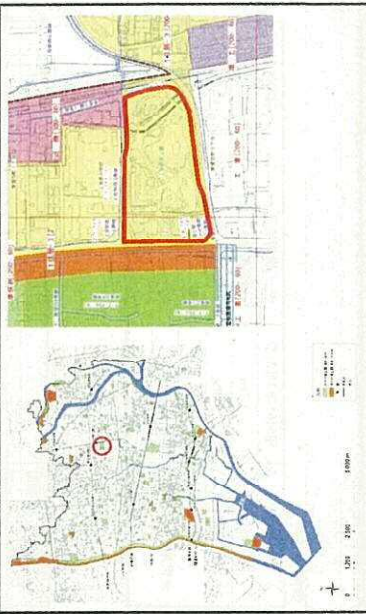
合計	—
内訳	—
民有地の土地利用	—

周辺状況

都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている 用途の代替性	有(磯島公園の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 水レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	標準面積以上のため代替性の検証はなし

4. 3. 401号 上坂部西公園

公園概要	当初 昭和47年3月24日	公園種別	地区
都市計画決定年月日	昭和57年9月24日	計画面積	最終 3.3ha
位置	尼崎市草園口町1丁目他		
用途地域	第一種住居	土地用途整理による取得の有無	無
上位計画における位置付け	有線の基本計画(沿線の緑、防災の拠点)、地域防災計画(大火災避難場所)		



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和61年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	2.7ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	0.6ha	供用率	81.8%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		
	0.32ha	0.20ha	0.08ha

概算事業費

合計	201,600千円
概算事業費	内訳 用地買収費83,200千円、工事費118,400千円
民有地の土地利用	畑

周辺状況

都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている 用途の代替性	有(上坂部西公園の供用部分で機能が充てられている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	地区公園のため代替性の検証なし

検証結果

必要性	上位計画に基 る必要性 都市公園としての 必要性	○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
代替性	上位計画の 都市公園 機能の代替	○
実現性	—	○
地域固有の要素を 含めた総合的な検証	本市の都市緑化植物園(生花緑地)及び所有地(公園用地)及び河川であり、公園用地は整備が可能な 本市の都市緑化植物園でもある緑化普及啓発の拠点公園として整備を進める 沿路道路に面した民有地部分は、緑地にも重要な場所として位置している。また、 沿路地部分は生産緑地であり、住宅地などと比べると整備の実現性がある。 河川は排水整備や景観的要素として位置付けられる。	○

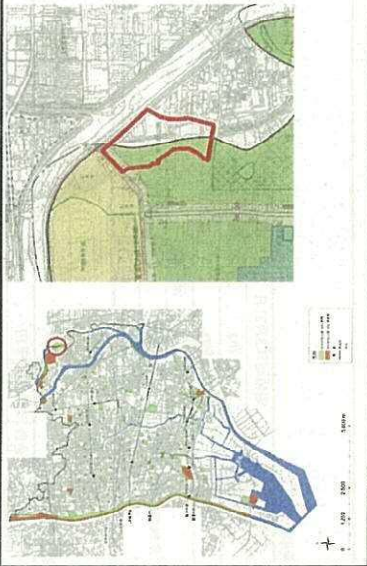
検証結果	存続
特記事項	

計画面積	見直し前 3.3ha
	見直し後 3.3ha
	廃止面積 0.0ha



4. 4. 402号 緑名川公園

公園概要		公園種別	地区
都市計画決定年月日	当初 昭和44年5月20日	計画面積	7.2ha
位置	最終 昭和60年2月5日	最終	
用途地域	尼崎市雑堂丁目地		
上位計画における位置付け	第1種中高層住居専用	土地区画整理による取得の有無	無
	有(緑の未来計画(環境緑地の開発、水辺の緑、文化・レクリエーション)、地域防災計画(大気汚染対策等))		



供用状況		供用年月日	昭和46年3月26日	供用状況	一部未供用
供用面積	5.3ha	供用面積との比較	標準面積以上	供用率	73.6%
未供用面積	1.9ha	供用地	公園用地	その他	1.90ha
未供用面積の内訳					

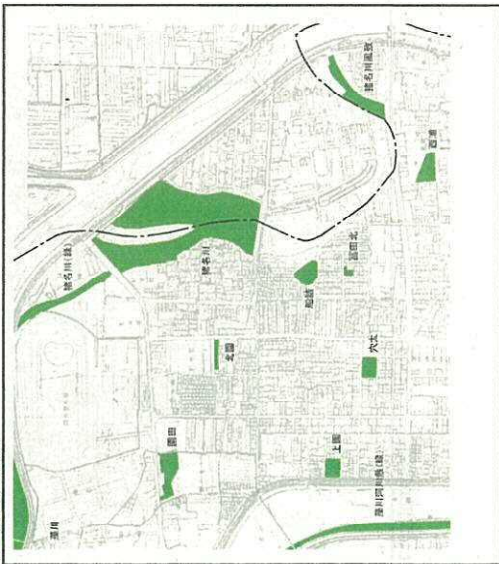
概算事業費		合計	-
概算事業費	内訳		
民有地の土地利用	池		

周辺状況		都市公園の充足状況	-
上位計画で定められている調達の必要性	有(緑名川公園の供用部分で機能が発揮できている)	環境・景観	-
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション	-
地区公園のため代替性の検証なし		防災	-
周辺の代替施設			

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

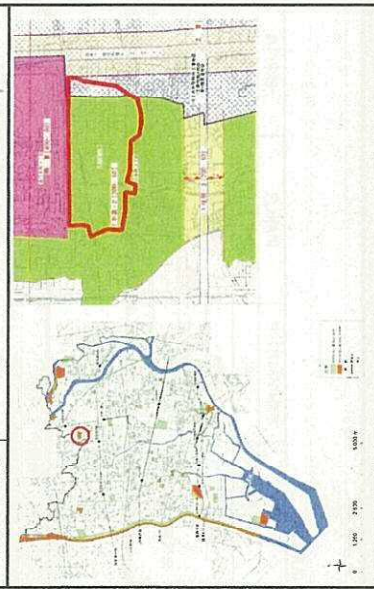
必要性	上位計画に位置付けがある	○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
代替性	○ 上位計画に位置付けがある × 既決定区域(未供用区域)のみで公園の機能が十分発揮できている ○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている	
実現性	○ 未供用区域は公有地(国所有地、河川)であるが、事業施設として供用できる可能性はある ○ 未供用区域の池は、現状においても修繕的な必要を備えていることから、都市公園として供用できないが、今後関係機関と協議し、その結果をもとに都市計画の変更を行っていく。 ○ 総合公園への種別変更を検討する。	

検証結果	存続
特記事項	
計画面積	見直し前 7.2ha 見直し後 7.2ha 廃止面積 0.0ha



4. 3. 403号 塚口北公園

公園概要		公園種別	地区
都市計画決定年月日	当初 昭和32年2月28日	最終 昭和60年2月5日	3.1ha
位置	尼崎市塚口本町3丁目		
用途地域	新1種中高層住居専用 工業		
上位計画における位置付け	無		



供用年月日	昭和48年5月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.2ha	標準面積との比較	標準面積以下
未供用面積	2.9ha	供用率	6.5%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		
			2.80ha

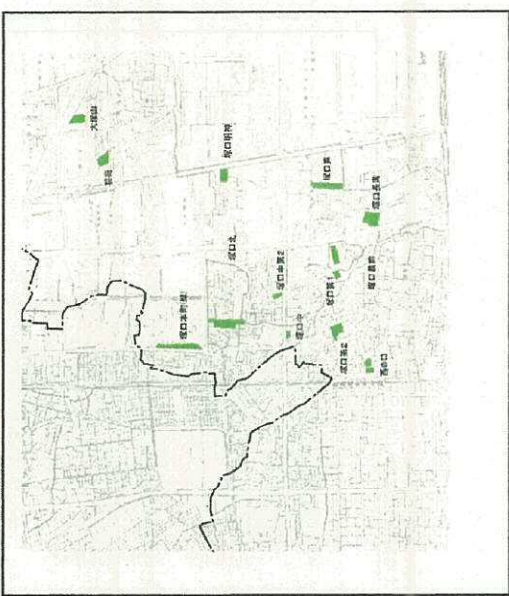
概算事業費	合計 3,206,629千円
内訳	用地買収費5,656,000千円、移転補償費2,541,629千円、工事費667,000千円
民有地の土地利用	施設(住宅(144戸)、車庫住宅(10戸)、商店・店舗(10戸)、一般住居(10戸)、一般店舗(10戸)、低層住宅(10戸)、駐車場

周辺状況	
都市公園の充足状況	—
上位計画で求められている用途の代替性	—
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	地区公園のため代替性の検証なし

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果		○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要	
必要性	上位計画における都市公園としての必要性	×	上位計画に位置付けがない
代替性	都市公園機能の代替性	×	計画決定当時と比べ地区公園として必要性がなくなった
	都市公園機能の代替性	-	
実現性	未供用区域は民有地及び道路及び水路であり、整備が見込めない	×	
地域固有の要素を含む総合的な検証	大塚塚公園は、上塚部西公園、塚名川公園等により充足している	×	
	近隣の公園(街区公園)としては、供用区域のみで標準面積以上である		
検証結果	面積縮小(未供用の一部)		
特記事項	計画面積	見直し前	3.1ha
		見直し後	0.2ha
		廃止面積	2.9ha



4. 4. 404号 西武庫公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和35年3月7日	公園種別	地区
	最終 昭和60年2月6日	計画面積	最終 7.2ha
位置	尼崎市武庫元町3丁目		
用途地域	第1種中高層住居専用品		
上位計画における位置付け	土地区画整理による取得の暫定 土地区画整理(水辺の緑、文化・レクリの緑)、供出緑地(水辺公園等)		



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和38年11月	供用状況	一部未供用
供用面積	7.1ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.1ha	供用率	98.6%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	私有地
	—	0.10ha	—

概算事業費

概算事業費	合計 23,000千円
底層地の土地利用	内訳 工事費23,000千円

周辺状況

都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている 公園の代替性	有 (西武庫公園の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	地区公園のため代替性の検証なし



検証結果

必要性	○ 上位計画に位置付けがある
代替性	○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
実現性	○ 未供用区域は実態的な道路であり、整備が見込まれない
地域固有の要素を含めた総合的な検証	○ 現在の供用部分で地区公園としての機能が発揮できている。未供用部分は兵庫県公園緑地課の所有地であるため、今後の管理について調整しながら、計画区域の縮小を前提に、都市計画の改善を行っていく。
検証結果	存続
特記事項	
計画面積	見直し前 7.2ha 見直し後 7.2ha 廃止面積 0.0ha



5. 5. 401号 水明公園

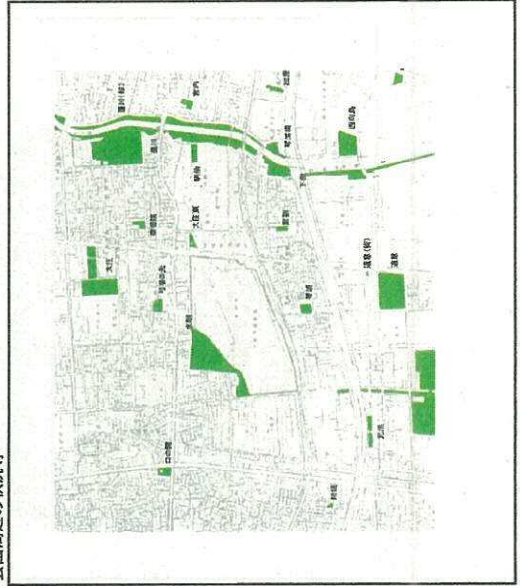
公園概要		当初	昭和32年3月28日	公園種別	総合
都市計画決定年月日	最終	昭和三十二年2月5日	計画面積	最終	14.3ha
位置	尼崎市水明町	新1種住居区画事業	土地取得の方式		無
用途地域			土地取得の方式		無
上位計画における位置付け	有緑の基本計画(沿線の軸)、地域防災計画(大火災避難場所)				

供用状況		昭和51年11月22日	供用状況	一部未供用
供用年月日	供用面積	1.9ha	標準面積との比較	—
未供用面積		12.4ha	供用率	13.3%
未供用面積の内訳	公園用地	—	その他	民有地
	公有地	11.5ha		

概算事業費	合計	2,852,000千円
概算事業費	内訳	工事費2,852,000千円
民有地の土地利用	競艇場の一部	

周辺状況		都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている都市公園機能の代替性	環境・景観	無	—
都市公園機能の代替性	文化・レクリエーション	—	防災
周辺の代替施設	都市基幹公園のため代替性の検証なし		

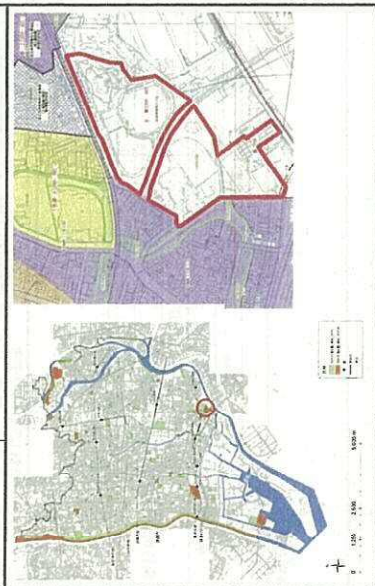


検証結果		○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
必要性	上位計画に位置付けがある	○
代替性	都市公園としての必要性	○
	上位計画の都市公園機能の代替性	×
実現性	未供用区域はほぼ全域市有地(競艇場)であり、整備が見込める	○
地域固有の要素を含めた総合的な検証	南西地域の総合公園として必要である。競艇場の施設整備計画にあわせてメインスタンプ部は公園計画区域から除くよう調整がある。今後、競艇場の施設整備計画は調整しながら、計画区域の縮小を前提に、都市計画の重要を行っていく。	○
検証結果	存続	
特記事項	競艇場内民有地部分は、市有地との土地交換について協議中である。	
計画面積	見直し前	14.3ha
	見直し後	14.3ha
	廃止面積	0.0ha

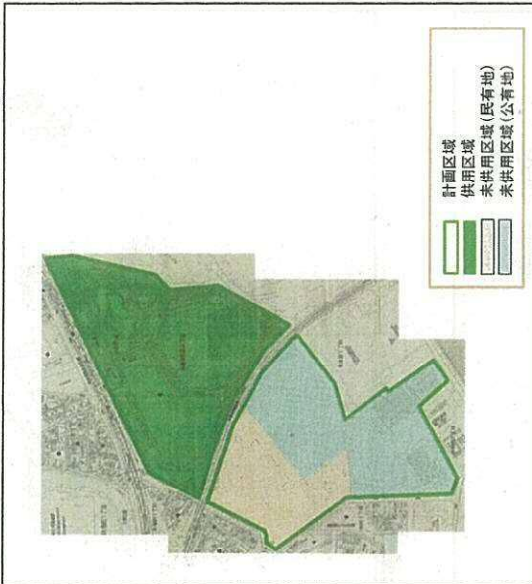


5. 403号 小田南公園

公園概要	当初 昭和54年12月21日	公園種別	総合
都市計画決定年月日	最終 昭和58年1月25日	計画面積	12.1ha
位置	尼崎市北瀬新町3丁目		
用途地域	工業		
	土地区画整理による取得の有無		無



土地利用の状況等



供用状況	供用年月日	昭和58年10月8日	供用状況	一部未供用
	供用面積	5.6ha	標準面積との比較	—
	未供用面積	6.5ha	供用率	46.3%
	未供用面積の内訳	公園用地 1.80ha	その他 3.00ha	民有地 1.70ha

概算事業費	合計	5,183,170千円
	内訳	用地取得費2,516,000千円、移転補償費1,172,170千円、工事費1,495,000千円
民有地の土地利用	工業専用施設、保管施設(3軒)	

周辺状況	都市公園の充足状況	—
	上位計画で求められている施設の代替性	無
	都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
	周辺の代替施設	都市遊歩公園のため代替性の検証なし

検証結果

必要性	上位計画における都市公園としての必要性	○	上位計画に位置付けがある
	計画決定前後の必要経費が、供用部分のみ公園の機能の十分発揮を促さない	○	
代替性	公園の代替	X	
	機能の代替	—	
実現性	実現性	△	実現区域は民有地及び市有地(公園用地)であり、公園用地は整備が見込める
	地域固有の要素を含めた総合的な検証	○	上位計画で防災公園としての機能強化が求められており、防災拠点としての必要な機能を未供用区域で整備していく必要がある。市有地を存続し、民有地を廃止とする。
検証結果			面積縮小(未供用の一部)
特記事項			
	計画面積	見直し前 12.1ha	見直し後 10.4ha
			廃止面積 1.7ha



6. 5. 402号 藻川公園

公園概要			
都市計画決定年月日	当初 昭和32年9月28日	公園種別	運動
	最終 昭和60年2月5日	計画面積	最終 27.2ha
位置	尼崎市田能2丁目他		
用途地域	第1種中高層住居専用品 第1種住居		
上位計画における位置付け	第18の都市計画(緑地保全の趣向)、都市防災計画(大規模災害時(農業公園、長田緑地等))		

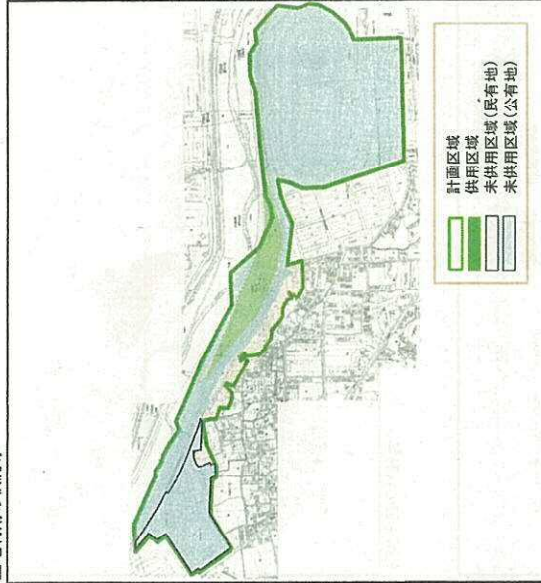


供用状況			
供用年月日	—	供用状況	全容未供用
供用面積	0.0ha	標準面積との比較	—
未供用面積	27.2ha	供用率	0.0%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
	—	25.0ha	1.70ha

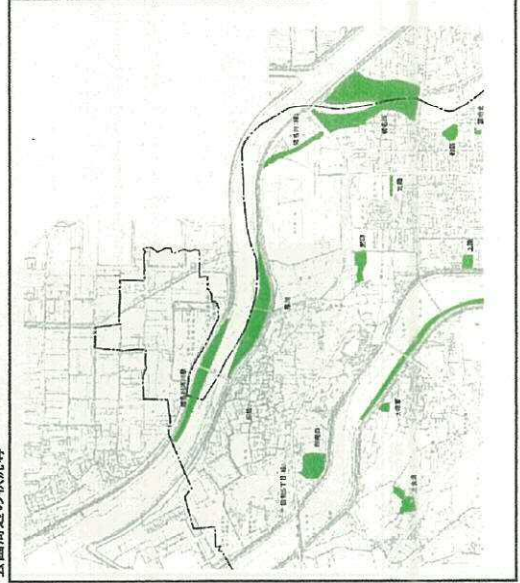
概算事業費	
合計	29,271,697千円
内訳	用地買収費22,010,000千円、移転償還費106,697千円、工事費6,256,000千円
民有地の土地利用	独立住宅(36軒)、集合住宅(11軒)、商業・業務兼用住宅(2軒)

周辺状況			
都市公園の充足状況	—	—	—
上位計画で定められている緑地の代替性	有(農業公園、猪名川河川敷公園、生産緑地、園田緑地等)	環境・景観	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション	—
周辺の代替施設	都市基幹公園のため代替性の検証なし	防災	—

土地利用の状況等

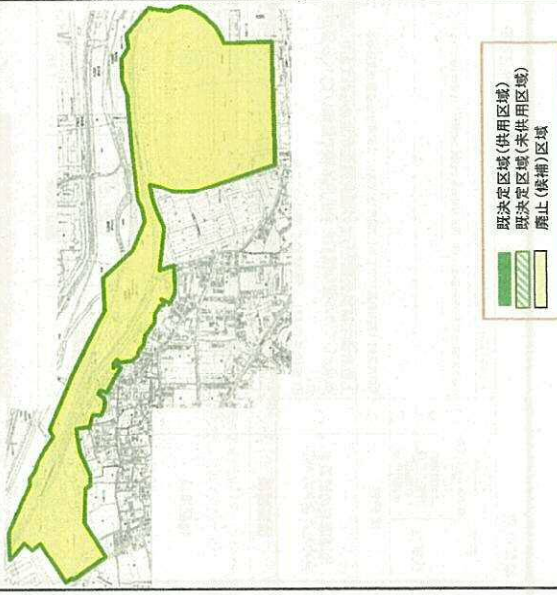


公園周辺の状況等



検証結果

必要性	上位計画に位置付けがある	○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
代替性	計画決定当時と比べ必要性がなくなった	×
	周辺に上位計画で求められている機能の代替がある	○
実現性	—	—
地域固有の要素を含めた総合的な検証	運動公園としては記念公園のみで充足している。未供用区域は農業公園及び猪名川河川敷公園として供用しており、都市計画決定時の公園施設のうち、テニスコート、自由広場、散策路、花木園、芝生広場を撤廃している。計画廃止後も農業公園及び猪名川河川敷公園として引き続き管理する。	—
検証結果	廃止	—
特記事項	農業公園のあり方について別途検討が必要。	—
計画面積	見直し前 27.20ha	
	見直し後 0.00ha	
	廃止面積 27.20ha	



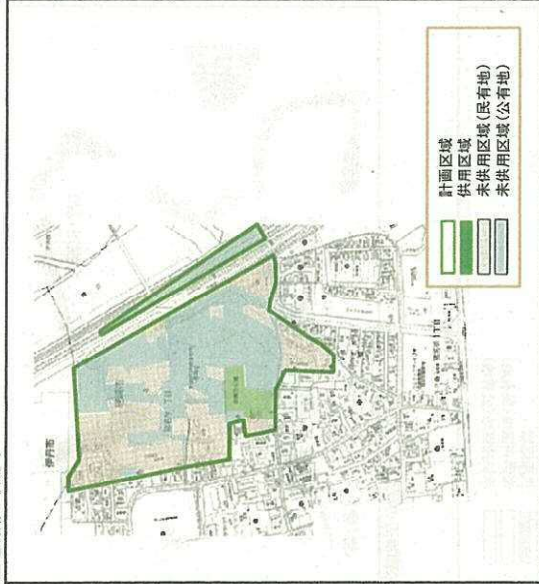
7. 3. 401号 佐珠丘公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	公園種別	風致
	最終 昭和60年2月5日	計画面積	最終 3.40ha
位置	尼崎市錦名寺1丁目		
用途地域	第1種住居		
上位計画における位置付け	有(総合計画、緑の基本計画(環境保全の拠点、文化・レクリエーションの拠点、水辺の特、沿線の助))		
土地区画整理による取得の有無	無		



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和27年8月20日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.1ha	標準面積との比較	—
未供用面積	3.3ha	供用率	4.1%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地	0.76ha	1.36ha

概算事業費

合計	3,222,023千円
概算事業費	内訳 用地買収費2,055,600千円、移転補償費418,623千円、工事費746,900千円
民有地の土地利用	独立住宅(26軒)、集合住宅(9軒)、駐車場(6軒)、宗教施設

周辺状況

都市公園の充足状況	—
上位計画で求められている緑の代替性	無
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	特殊公園のため代替性の検証なし

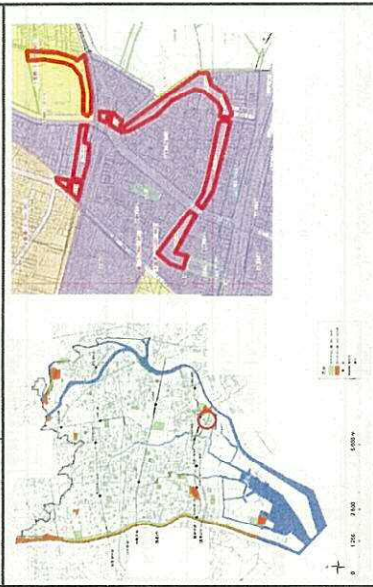
検証結果

必要性	上位計画における公園としての必要性	○	上位計画に位置付けがある
代替性	上位計画の代替施設の有無	×	計画決定当時から必要施設が、使用部分のみで公園の機能が十分発揮されていない
実現性	都市公園としての実現可能性	—	
地域固有の要素を含めた総合的な検証	未供用区域の大部分は既に市が取得あるいは借地している。また、民有地(山林)についても比較的安価で買収可能である。本市に緑の貴重な自然林を風致公園として適正に保全していく必要がある。また、現在、地域による自然林の保全活動が積極的に行われている。現在、地域による自然林の保全活動が積極的に行われている。現在、地域による自然林の保全活動が積極的に行われている。現在、地域による自然林の保全活動が積極的に行われている。	○	
検証結果	面積縮小(未供用の一部)		
特記事項			
	計画面積	見直し前	3.40ha
		見直し後	2.90ha
		廃止面積	0.50ha



大物川緑地

公園概要		当初	昭和54年12月21日	公園通別	緑道
都市計画決定年月日	最終	昭和58年1月25日	計画面積	最終	3.1ha
位置	尼崎市東大物町1丁目他				
用途地域	準工業	土地区画整理事による取得の権利			
有(被災復興)	有(被災復興)				

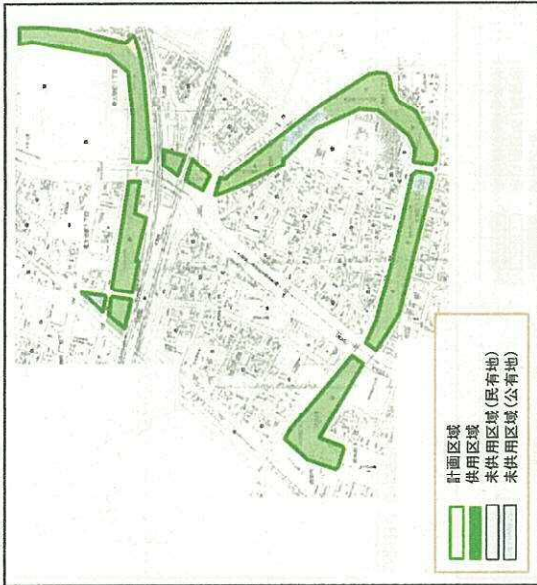


供用年月日	昭和58年10月8日	供用状況	一部未供用
供用面積	2.4ha	標準面積との比較	—
未供用面積	0.7ha	供用率	77.4%
未供用面積の内訳 <small>(※ 未供用面積は、(1)公有地、(2)私有地、(3)未供用面積以外の区域(0.26ha))</small>	公有地	その他	私有地
	公園用地	0.26ha	0.03ha

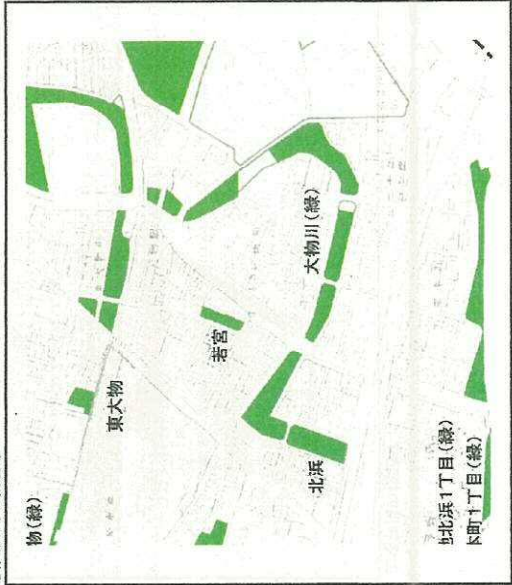
概算事業費	合計	497,260千円
概算事業費	内訳	用地買収費48,300千円、移転補償費195,986千円、工事費253,000千円
私有地の土地利用	業務施設(2軒)、商業・業務兼用住宅	

周辺状況	—
都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている機能の代替性	有(大物川緑地の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

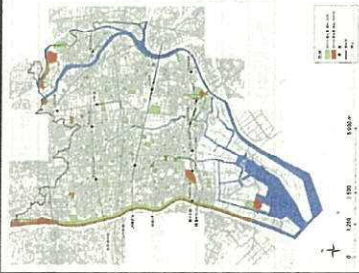
必要性	○ 上位計画に位置付けがある
代替性	○ 計画決定当初と変わらなず必要地があるが、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できていない ○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
実現性	△ 条状緑地は私有地及び公有地(供用部分)であり、非条状部分は整備が困難である ○ 地域固有の事業を含めた総合的な検証
検証結果	面積狭小(未供用の一部)
特記事項	未供用区域の公園用地は、平成27年度まで供用しており、交番として占有されていたが、交番の建替えに伴い廃止し、代官地として、一体的な緑地となるよう当該用地前面の用地を供用することとした。廃止区域を廃止しても緑地の連続性は保たれる。
計画面積	見直し前 3.1ha 見直し後 3.0ha 廃止面積 0.1ha



武蔵川河川敷緑地

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和56年6月9日	公園種別	都市緑地
	最終 平成12年10月10日	計画面積	最終 136.4ha
位置	尼崎市平左衛門町他		
用途地域	土地用途規制による取組の有無 無		
上位計画における位置付け	有(緑の基本計画(水辺の緑など)、地域防災計画(大気汚染発源地)		



供用状況

供用年月日	昭和60年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	45.0ha	標準面積との比較	—
未供用面積	91.4ha	供用率	33.0%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		

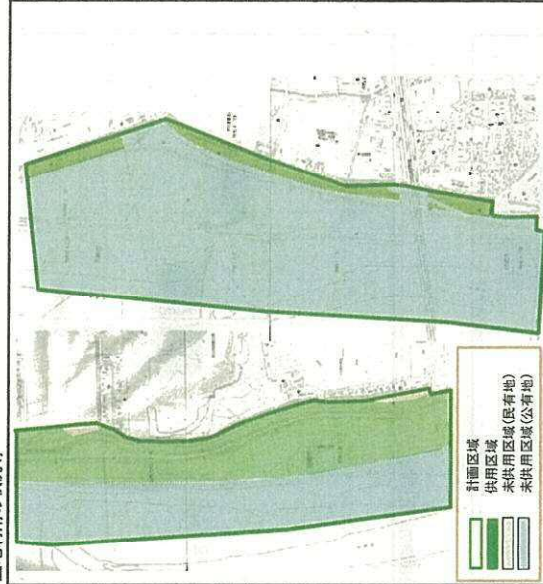
概算事業費

合計	1,893,615千円
内訳	用地買収費261,000千円、移転補償費160,615千円、工事費1,472,000千円

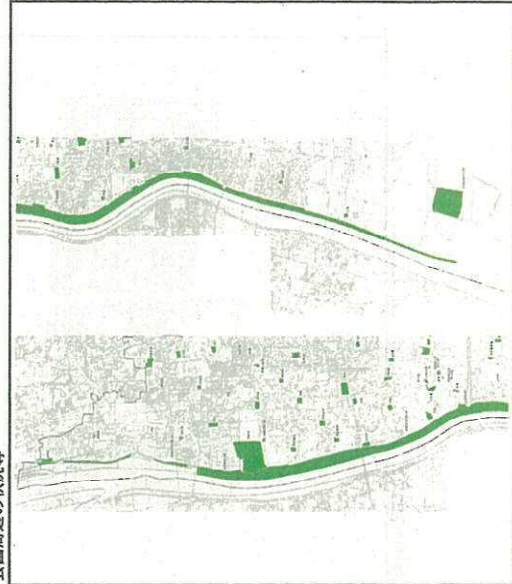
周辺状況

都市公園の充足状況	—
上位計画で求められている機能の代替性	有(武蔵川河川敷緑地の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし

土地利用の状況等

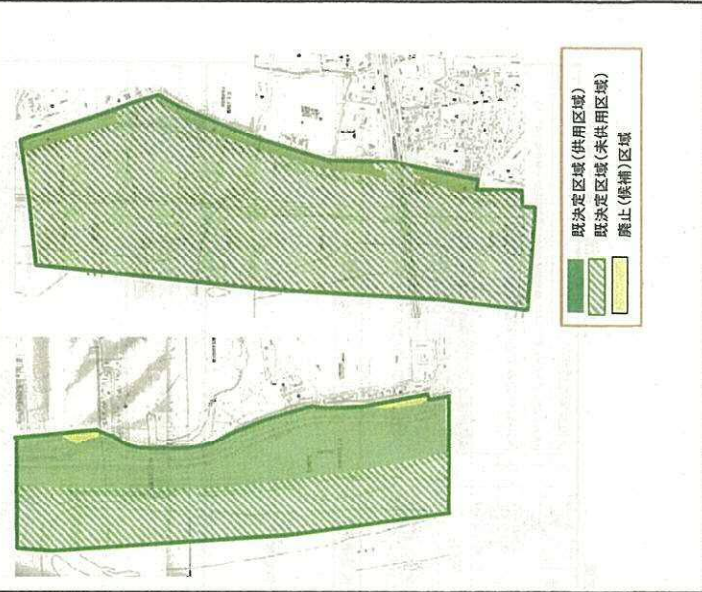


公園周辺の状況等



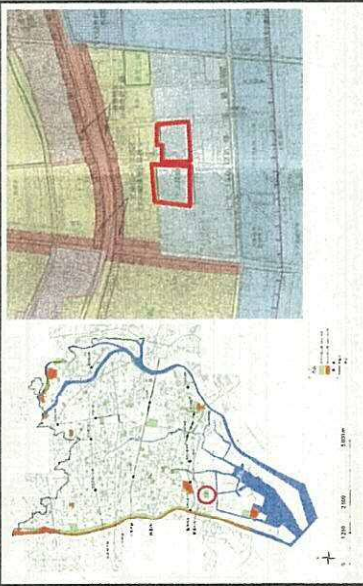
検証結果

必要性	上位計画における重要性	○ 上位計画に位置付けがある
代替性	都市公園としての必要性	○ 計画決定当初と比較して5%以上必要があるが、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できている
	機能の代替可能性	○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
実現性	△ 未供用区域は民有地及び河川区域であり、一部高水敷部分の面積は足らぬ	
	△ 未供用区域の水辺(低水敷部分)は、現状においても修景的な要素(自然的環境)を備えている。緑地の連続性を担保する必要があり、水面及び高水敷部分を存続し、民有地は廃止する。	
検証結果	一部廃止候補	
特記事項	廃止区域を廃止しても緑地の連続性は保たれる。	
	計画面積	見直し前 136.4ha 見直し後 136.2ha 廃止面積 0.2ha



元浜緑地

公園概要		公園種別	都市緑地
開始計画決定年月日	昭和63年10月21日	最終	3.8ha
最終	平成7年9月7日	計画面積	
位置	元浜市元浜町1丁目	土地取得費	無
用途地域	工業	土地取得費(取得費)	無
上位計画における位置付け	新緑のまちづくり(緑地の形成、文化・レクリエーションの場、地域防災計画(火災避難場所))		

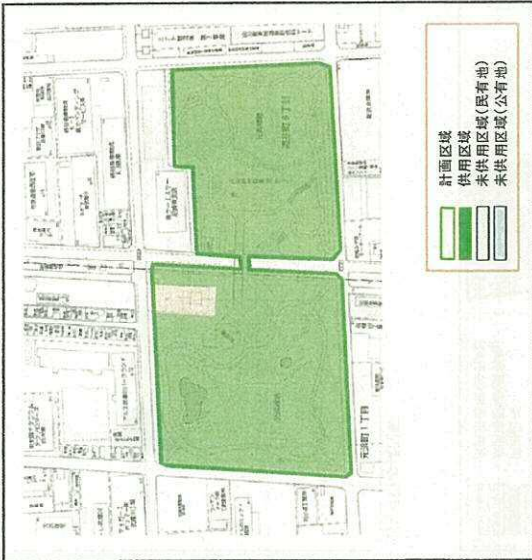


供用状況		平成3年7月15日	供用状況	一部未供用
供用面積	3.7ha	標準面積との比較		標準面積以上
未供用面積	0.1ha	供用率		97.4%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地		私有地
				0.10ha

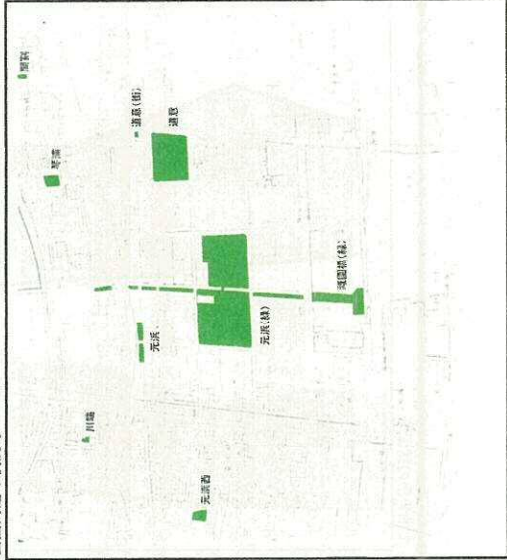
概算事業費	
合計	146,000千円
内訳	用地買収費123,000千円、工事費23,000千円
民有地の土地利用	鉄塔

周辺状況	
都市公園の充足状況	-
上位計画で定められている緑地の供給	有(元浜緑地の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 - 文化・レクリエーション - 防災 -
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果		○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要	
必要性	上位計画における位置付けがある	○	
代替性	上位計画における位置付けがある	○	
実現性	上位計画における位置付けがある	○	
検証結果	検証結果	○	
特記事項	特記事項		

計画面積	
見直し前	3.8ha
見直し後	3.8ha
廃止面積	0.0ha

